

様々な地域包括ケアへの取り組みを紹介。地域医療介護学習会を開催しました



6/20 汐田総合病院で「どうする鶴見の地域包括ケア～みんなで住みよいまちをつくろうよ～」をテーマに地域医療介護学習会を行いました。多く地域の医療・介護各施設の職員の皆様にも参加いただき、関心の高さがうかがえました。

まず鶴見区地域包括ケア担当係長より鶴見区の地域包括ケア構築のための4つの取り組み「介護予防」「生活支援」「認知症対策」「在宅医療・介護連携」を重点的に進めていくお話があり、鶴見区区社協事務局より生活支援体制整備事業について説明をいただき、後半では、末吉地域の連携「みまーもすえよし」による「地域見守りネットワーク事業」、ケアプラザが中心となった連携「川のまちエリア会議」での「認知症SOS訓練」、「よこはま健康友の会」による「無料塾」の指定報告が行われました。会場からも「認知症カフェ」「ケアラズカフェ」「こども食堂」「作業所とコラボしての野菜販売」等々地域内での取り組みが紹介されました。これまで、互いの取り組みを知る機会が無く、今回初めて知ったという声も多く聞かれました。最後に座長の宮澤先生より、「皆さんそれぞれ医療や介護の本業をもっており、それ自体が地域包括ケアの一部をすでに担っているのですが、そこから更に一步地域に踏み出すことで、新しい連携が作られ、さらに地域包括ケアが充実していくのではないのでしょうか」と、締めくくりました。今回が新たな連携作りへのきっかけになれたのではと期待しています。



特殊詐欺対策講座・実際の犯人の声を聞く

6/27 汐田総合病院を会場に「川のまちエリア会議」が開かれ「わたしは大丈夫 そんなアナタが被害に遭う！特殊詐欺対策講座」をテーマに次々とくる新手の特殊詐欺（オレオレ詐欺、振り込め詐欺、還付金詐欺等）についての講義とグループワークを行い、録音された実際の犯人の声を聞いてみました。また、地域の信用金庫の支店長や郵便局の局長も参加いただき、各金融機関での対策も紹介していただきました。

昨年度県内被害額は約59億円と増加。手口もさらに多様化しているようです。高齢者が気軽に相談できる家族や、地域の環境づくりが私たちにできる予防策のようです。



スリースターファーマシスト

みなさんご存知でしょうか？世界保健機構（WHO）が「Seven Star Pharmacist」という概念を導入し、薬剤師を「ケア提供者」「情報伝達者」「意思決定者」「教育者」「生涯学習者」「リーダー」「マネージャー」と位置づけています。この本の中で、この理念と患者の行動変容と起こすことが、患者の結果向上に寄与できる内容が書かれています。行動変容を促す動機付け面接などは対患者だけでなく、多くの場面に役立ちそうです。



岡田浩/じほう

スタッフひとこと

糖尿病の合併症の覚え方に「し・め・じ」があります。神経障害（し）・網膜症（め）・腎症（じ）です。実は「え・の・き」もあるんです。知ってました？それは壊疽（え）・脳梗塞（の）・狭心症/急性心筋梗塞（き）です。さらに、骨粗鬆症のリスクも上がるので、7大合併症ともいわれています。当院でも骨粗鬆症検診やっていますので、ご利用ください（T.O）。



うしおだ総合ケアセンター  
We aim to build a non-discriminatory Integrated Community Care System that supports all

メモリーカフェ



認知症にまつわる悩み、専門スタッフに相談できます

・汐田総合病院 会場：ラウンジぴゅあ（病院2階）

8月お休み 9月12日（木）14:00-16:00

・うしおだ診療所 会場：友の会汐田・向井町支部事務所

8月お休み 9月12日（木）13:30-15:30